

福山市 青少年センターだより

2019年度 第1号

福山市青少年センター
 福山市西町1-1-1 エフピコRiM 地下2階
 (青少年・女性活躍推進課内)
 TEL 084-928-1046
 FAX 084-927-9121
 seishounen-josei@city.fukuyama.hiroshima.jp

福山市青少年自立支援事業

福山市では、青少年育成自立支援事業において、福山市に在住の概ね15歳から39歳までのひきこもりがちな青少年を対象に、5月から2月までの約10カ月の間、創作活動やボランティア活動、スポーツ体験、職場体験などを週1回程度ずつ行いながら、他の参加者やスタッフとの交流を通じて、就労や就学などの社会参画を目指す「社会体験活動プログラム」を実施しています。このプログラムへは、年度途中からでも参加をすることができ、興味のあるものだけに参加するということも可能です。



また、ひきこもりなどの問題に悩まれているご家族を対象に、2～3カ月に1度の頻度で家族交流会を開催しております。家族間での交流、相談、ひきこもりの状況や家族間の関わり方などについて学習などを行っています。



～社会体験活動プログラムと家族交流会のお問い合わせ～

福山市青少年・女性活躍推進課 (TEL: 928-1046)
 (公財) 福山市スポーツ協会 青少年育成課 (TEL: 952-1177)

子どもの安心・安全

福山ばら祭『子どもの安心・安全啓発ブース』
 (5月18日・19日)

ばら花壇の周辺を回るクイズラリーで、地域の“安全な場所・危険な場所”に関する知識を深めてもらいました。



こども110番の家の協力件数
 (2019年3月時点)

設置件数・・・5,589軒
 (一般住宅・・・3,280軒 その他・・・2,309軒)
 (昨年より104軒減少。駆け込み事例なし。)



ご協力ありがとうございます!

2018年度補導状況

福山市青少年センターでは、福山駅周辺や市内の各学校周辺、公園、ゲームセンターなど、子どもたちが集まりそうな場所を中心に、声かけ(補導活動)を行っています。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	全体
2018年度	35	54	59	20	4	53	68	122	44	74	32	12	577
喫煙	1	—	—	1	—	—	—	—	1	1	—	5	9
怠学	13	5	11	1	3	4	15	20	—	1	—	6	79
遅刻	19	46	45	17	1	48	51	96	41	67	26	1	458
飲酒	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
家出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	0
再登校指導ほか	2	3	3	1	—	1	2	6	2	5	6	—	31

最近街で会う子ども達と、その子ども達を取り巻く環境について、感じていることを述べます。

私達が巡回している時に、公園などに集まって喫煙をしている子ども達を見かけることがあります。その子ども達に、喫煙を始めた時期やきっかけについて聞くと、始めた時期は小学生の時からと低年齢化しています。きっかけは、上級生が吸っていたので何となく始めた、周りの友達が吸っていたので、などと理由は様々です。吸うことを勧められた子ども達は意外に多くはありません。集団に入るためや集団に留まるために吸っていることもあります。

子ども達に、友達同士なのかと聞くと、あまり親しい仲ではないとか知らない人だと言うことがよくあります。そして、ただ何となく集まっているとも言います。それぞれが親しい仲ではないが、ここが自分の居場所だと感じて、自分が一番安心できる場所なのかもしれません。

同じことを、近年急速に広がりを見せる無料メールアプリ（LINE など）にも感じるがあります。アプリの中の閉鎖された世界において、会ったこともない人がアプリを通して、無条件で自分を認めてくれるので、すごく居心地が良い思いになるようです。今までにない、新たな自分を発見したようで、嬉しくなりさらにその世界にのめり込んで行きます。

こうなると、外部からの心配の声も自分を否定する声に聞こえて、益々自分の世界に入り込もうとします。

公園などで集まっている子ども達もアプリの中の世界も、背景にあるものは同じように感じます。

自分の居場所を探そうと必死にもがいて、さらに自分の世界に閉じこもってしまいます。

まずは、家庭において、日ごろから気になることを話題にしたり、言葉に表して心配りをするすることで、家庭のコミュニケーションが円滑になり、問題が起きても解決を早めることができると思います。（藤井）

中央青少年育成員のコーナー

『おはようございます』『おはよう』の挨拶。それに対して『おはようございます』の挨拶をする人。小さな挨拶をする人。屈んで行く人。知らん顔の人。（僕を嫌っているのかな。大物になれるぞ。）何人かで通る人。わざと隣の人と話を始める人。

いつもは挨拶をするのに今日はしない人。（家で何かあったのかな。怒られたのかな。）よく遅刻する人。よく休む人。（イジメかな。）そっと周りの人に聞く。朝の挨拶はその人のバロメーター。いろんなことが見えてくる。今日も一日頑張ろう。

朝の挨拶をする中で、集団登校の小学生に1回挨拶をすると先頭はするが、あとの小学生はしないことがある。駅で挨拶運動をしても返事が無いのは誰に挨拶しているのかわからないからだろう。最近では、集団登校の1人1人に挨拶を始めた。反応が良い。

先日、学区のお祭りで、無料でかき氷配り、ポップコーン配り、綿菓子づくり体験などを青少年育成員や民生委員・児童委員などで行った。『ありがとうのいえるこ』と書いた紙を3か所に吊るし、多くの人ありがとうと言ったが、昼を食べないのか何度もくる子もいた。

「またくれるのであればくれ。」というような素知らぬふりをした子もいた。

『おはよう』『ただいま』『ありがとう』。この言葉は家庭でも指導してほしい。（神村学区 佐藤）



編集後記

この度、同一内の職場で、男女共同参画センターから青少年センターの担当となりました。まだ、編集時点で2ヶ月しか経っていないということもあり、「巡回補導活動で子どもたちへどのような声かけをすればよいか。」「子どもたちを取り巻く社会環境の課題はどのようなものがあるのか。」などといった疑問と勉強の日々が続いています。

これからは子どもたちの健全育成や非行防止などについて一つ一つ理解していき、子どもたちが笑顔で元気に過ごしていける環境をつくっていけるよう頑張りますので、よろしくをお願いします。（高橋）

